

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成22年1月14日(2010.1.14)

【公開番号】特開2008-167047(P2008-167047A)

【公開日】平成20年7月17日(2008.7.17)

【年通号数】公開・登録公報2008-028

【出願番号】特願2006-353011(P2006-353011)

【国際特許分類】

H 04 N 5/225 (2006.01)

G 08 B 25/00 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/225 C

G 08 B 25/00 5 1 0 M

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月18日(2009.11.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも一つの撮像装置と通信回線を介して接続され、前記撮像装置を制御可能な制御装置であって、

前記撮像装置の配置位置に該当する所定の期間の気象情報を取得する手段と、

前記撮像装置に対して電源を供給する電源供給手段の前記所定の期間内の電力残量を前記気象情報に応じて算出する手段と、

前記算出手段により算出された前記電源供給手段の電力残量に基づいて、前記撮像装置の撮影モードを消費電力の異なるモードに切り替える制御手段とを有することを特徴とする制御装置。

【請求項2】

前記電源供給手段に対して発電した電力を供給する発電手段の発電力量を検知する検知手段を更に有し、

前記制御手段は、前記電源供給手段の前記所定の期間内の電力残量と前記発電手段の発電力量とに基づいて、前記撮影装置の撮影モードを消費電力の異なるモードに切り替えることを特徴とする請求項1に記載の制御装置。

【請求項3】

前記取得手段は、前記所定の期間の前記気象情報を取得し、前記算出手段は、前記所定の期間の前記気象情報に応じて、前記所定の期間内における前記電源供給手段の電力残量を算出し、前記制御手段は、前記所定の期間内において、前記電源供給手段の電力残量が0以下となる期間が存在するか否かに応じて、前記撮像装置の撮影モードを消費電力の異なるモードに切り替えることを特徴とする請求項1又は2に記載の制御装置。

【請求項4】

前記電源供給手段の前記所定の期間内の電力残量が所定のレベル以下であるか否かを判定する判定手段を更に有し、

前記制御手段は、前記判定手段の判定結果に応じて、前記撮像装置の撮影モードを消費電力の異なるモードに切り替えることを特徴とする請求項1乃至3の何れか1項に記載の制御装置。

【請求項 5】

少なくとも一つの撮像装置と通信回線を介して接続され、前記撮像装置を制御可能な制御装置の制御方法であって、

前記撮像装置の配置位置に該当する所定の期間の気象情報を取得する取得ステップと、

前記撮像装置に対して電源を供給する電源供給手段の前記所定の期間内の電力残量を前記気象情報に応じて算出する算出ステップと、

前記算出手段により算出された前記電源供給手段の電力残量に基づいて、前記撮像装置の撮影モードを消費電力の異なるモードに切り替える制御ステップとを含むことを特徴とする制御装置の制御方法。

【請求項 6】

少なくとも一つの撮像装置と通信回線を介して接続され、前記撮像装置を制御可能な制御装置の制御方法をコンピュータに実行させる為のプログラムであって、

前記撮像装置の配置位置に該当する所定の期間の気象情報を取得する取得ステップと、

前記撮像装置に対して電源を供給する電源供給手段の前記所定の期間内の電力残量を前記気象情報に応じて算出する算出ステップと、

前記算出手段により算出された前記電源供給手段の電力残量に基づいて、前記撮像装置の撮影モードを消費電力の異なるモードに切り替える制御ステップとを含むことを特徴とする制御装置の制御方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の制御装置は、少なくとも一つの撮像装置と通信回線を介して接続され、前記撮像装置を制御可能な制御装置であって、前記撮像装置の配置位置に該当する所定の期間の気象情報を取得する取得手段と、前記撮像装置に対して電源を供給する電源供給手段の前記所定の期間内の電力残量を前記気象情報に応じて算出する算出手段と、前記算出手段により算出された前記電源供給手段の電力残量に基づいて、前記撮像装置の撮影モードを消費電力の異なるモードに切り替える制御手段とを有することを特徴とする。

本発明の制御装置の制御方法は、少なくとも一つの撮像装置と通信回線を介して接続され、前記撮像装置を制御可能な制御装置の制御方法であって、前記撮像装置の配置位置に該当する所定の期間の気象情報を取得する取得ステップと、前記撮像装置に対して電源を供給する電源供給手段の前記所定の期間内の電力残量を前記気象情報に応じて算出する算出ステップと、前記算出ステップにより算出された前記電源供給手段の電力残量に基づいて、前記撮像装置の撮影モードを消費電力の異なるモードに切り替える制御ステップとを含むことを特徴とする。

本発明のプログラムは、少なくとも一つの撮像装置と通信回線を介して接続され、前記撮像装置を制御可能な制御装置の制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラムであって、前記撮像装置の配置位置に該当する所定の期間の気象情報を取得する取得ステップと、前記撮像装置に対して電源を供給する電源供給手段の前記所定の期間内の電力残量を前記気象情報に応じて算出する算出ステップと、前記算出ステップにより算出された前記電源供給手段の電力残量に基づいて、前記撮像装置の撮影モードを消費電力の異なるモードに切り替える制御ステップとをコンピュータに実行することを特徴とする。